

# Newsletter

発行者：国立大学法人秋田大学男女共同参画推進室  
〒010-8502 秋田市手形学園町1-1  
電話：018-889-2260  
<http://www.akita-u.ac.jp/coloconi/>

## 講演会



## 「外国人から見たわが国の男女共同参画」を開催しました

平成23年12月6日(火)、秋田ビューホテルにおいて、ノルウェー出身の女性言語学者ビートリックス・ファイフ氏を招き、「ヨーロッパの現代におけるノルウェー女性～バイキング精神と性区別のない職場～」と題して講演会を開催しました。

講演ではノルウェーで見ることができるオーロラやフィヨルドなどの風景のスライドを交えながら、ノルウェーの文化や歴史、男女平等のあり方について紹介いただきました。ノルウェーでは共働きの夫婦の場合、税金の優遇があることや、父親になった男性の約9割が育児休暇を取得することのことでした。ファイフ氏は「ノルウェーでは男女が性別に関係なく、自分のやりたいことができる社会である」との考えを示されました。

また、「男女共同参画を進めていくことは、結果的に男性にとっても一生涯働き続けることへのプレッシャーを軽減するなど、ハードル低くする側面もある」との考えを示され、参加者も頷きながら講演を聴く場面も見られました。

最後にファイフ氏は、「ノルウェーと日本はそれぞれ文化が違うが、両国のよい面を取り入れるべきであり、男女平等は男性にとっても非常に大切な問題であり、日本人は男女間でお互いの意見や考え方を話し合い、もっとコミュニケーションをとる必要があるのではないか」と話されました。最後の質疑・応答でも活発に意見交換が行なわれ、会場は大いに盛り上がりました。



講演するファイフ氏



会場の様子

## 刊行物のご案内

昨年9月22日に開催した「若手女性研究者のための外部資金獲得セミナー」での内容をまとめた「研究資金取得のためのちょっとしたコツ」と、11月16日開催の「第5回コンシェルジュ・デスク相談員研修会」での内容をまとめたリーフレットを発行いたしました。ホームページにも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。  
(コココニHP→ライブラリ)

<http://www.akita-u.ac.jp/coloconi/library/>



9月22日  
若手女性研究者のための  
研究資金獲得セミナー



11月16日  
第5回コンシェルジュ・デスク  
相談員研修会リーフレット  
「困ったさんへの対応」

## 次世代女性研究者育成事業として「コラーゲン」に関するサイエンスイベントを開催しました

### 大学院生、研究者対象 ▶ サイエンスセミナー2011を開催しました

平成23年12月22日（木）、本道キャンパスで「サイエンスセミナー2011～マンモスからコラーゲンがとれました～」を開催しました。

昨年に引き続き、株式会社ニッピバイオマトリックス研究所長の服部俊治氏から、大学院生、研究者を対象に、コラーゲンの特質や、現在行われている先端の冷凍マンモス研究について、分かりやすく解説され、医学系以外の参加者にも興味深い内容でした。

2万～4万年前のマンモスの牙からコラーゲンの抽出に成功し、その分析の結果コラーゲン特有の3本鎖の構造を保っていることがわかったとのお話があり、最近よく耳にする身近な「コラーゲン」を題材に、冷凍マンモスについての貴重なお話を聞くことができました。



サイエンスセミナーの様子

### 親子でサイエンス2011を開催しました ◀ 小中高生、一般対象



コラーゲンについて説明する藤崎氏



質問に答える森井先生



膠を混ぜた絵の具で書いた文字を見せる服部氏

平成23年12月23日（金）に「親子でサイエンス2011～女性研究者によるコラーゲン研究の最前線～」を開催し、県内の小中高生とその保護者、一般市民の参加がありました。

前半は、講師の株式会社ニッピバイオマトリックス研究所の藤崎ひとみ氏と本学医学部附属病院・小児外科医の森井真也子先生から、コラーゲンとは何か、体の中での働きなどについて、スライドを使ってわかりやすく講演していただきました。

後半は、「もじゃ博士」こと服部俊治氏から、コラーゲンを使った観察と実験をしていただきました。特にコラーゲンと同じ原材料である膠（にかわ）を使って絵を描き、水彩画とは異なりにじまない特性があることを体験し、参加者同士で作品を見せ合うなどして、会場は和やかな雰囲気になりました。

今回の二つのイベントは活動紹介書にまとめて発行いたします。興味のある方はぜひご覧ください。次号のニュースレターでご案内します。